

東北・福島+埼玉=福の玉 が生まれ、ゆっくりふくらんでいきますように...

春は  
もうすぐ  
10号

# 福玉、便り

2013年3月1日(金)発行

ふ く た ま だ よ り

発行:『福玉便り』編集委員会 (一社)埼玉県労働者福祉協議会・NPO法人ハンズオン埼玉・震災支援ネットワーク埼玉(SSN)  
編集デザイン:NPO法人ハンズオン埼玉 メール:fukutama@431279.com  
連絡先:(一社)埼玉県労働者福祉協議会:〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤6丁目4-21 TEL048-833-8731  
印刷協力:富士ゼロックス埼玉 端数倶楽部

3月23日(土)・24日(日)は  
さいたま新都心・けやき広場で

## 相双の春祭り!

さいたま市

3月24日(日)にさいたま市主催の「さいたまシティーマラソン」が開催されます。市は、この機会を震災支援として活用して欲しいとのことで、さまざまな催しや販売が企画されています。

再けやき広場で  
会いませんか?

### 【23日】

- 12:00~12:30 盛岡市の大江戸さんさ
- 12:30~13:00 双葉町婦人部の「相馬流山踊り」
- 15:10~16:40 西馬音内盆踊り、いわき太鼓、東京ねぶた会
- 10:00~16:00 浪江焼きそば 販売

### 【24日】

- 8:00~13:00 浪江焼きそば 販売

(一社)埼玉労福協でもこれにあわせて、

①「さくら咲かせるぞう」(富岡町泉玉露飯設住宅で制作されている手拭きタオルかけ)の販売

②相馬野馬追いのポスター・チラシ展示

※「相馬野馬追い」に関する「人に見てもらいたいもの」をお持ちの方はご協力下さい。

③双葉町森さんの「茶まんじゅう販売」を行います。



桜が咲き始めるこの2日間、さいたま新都心けやき広場で、浪江焼きそば(有料)を食べながら、相馬流れ山踊りやいわき太鼓で心休めませんか。テントでお飲み物なども用意してお待ちしています。

もしかすると、また新たな出会いがあるかも知れませんよ!



## 3・11追悼式典～黙祷の会～

3月11日(月)14:00-

上尾シラコバト団地 ぞうさん公園

上尾

雨天決行

早いもので、また、3月11日が近づいて来ました。今年、黙祷の会を開くべきかどうかの判断がつきませんでした。皆様の声に後押しされ、昨年同様に開催する運びとなりました。同じ思いを持つ方々のご参列をお待ちしております。

(主催者代表:上尾シラコバト団地 被災者の会 ひまわり 橘光顕)

《第一部 黙祷の会》14:00~

来賓挨拶/被災者の言葉/朗読/  
14:46 黙祷/太鼓演奏/植樹

《第二部 語らいの集い》15:30~

参列者による語り合い ※飲食物持ち寄りにて(冷蔵庫にて保存可)



昨年の黙祷の会の様子

問い合わせ:シラコバト団地 自治会 048-774-6323

被災者の会 ひまわり 橘 080-3091-6215

## 交流会:青空・あおぞら

所沢

3月17日(日)13:30~16:00

会場:新所沢公民館 埼玉県所沢市緑町1丁目8番3号

交通:新所沢駅西口より徒歩8分(西武新宿線)

ところバス「緑町中央公園」バス停より徒歩1分

参加申込先:岡田090-3960-8089、渡邊:090-8424-9797

\*事前にお電話にて参加のお申込みをお願いいたします。

## 川口市・避難者交流会を開催します。

3月23日(土)11:00-14:00

川口市太陽サバールビル5階・ホール

中華料理を囲みでの懇談、余興、抽選会などです。

主催:実行委員会(一社)埼玉労福協、川口・戸田・蕨地域労福協など) 協力:川口市、川口ひまわり 048-833-8731

川口

詳細次号にて! →



幸手



権現堂の桜の下で  
交流会を行います

4月7日(日)



# 福島 ↑↓ 玉を結ぶバスが走っています



2月23日

(土) さいたま新都心↓

福島行きに  
乗車しまし  
た。ご利用  
くださった

方の感想と、バスの様子をリポートします。(編集部伊藤)

## ●やっと出逢えました!

郡山市から母子で避難しています。NHKのニュースをみて、本当に嬉しかった。実は、同じ境遇の人と出会えないだろうかと、ずっと2年間探していました。今回、このバスに乗ることになって、福玉便りに登録もできたので、近くの交流会にも参加したいと思っています。

## ●数ヶ月ぶりに...

このバスがあったから、久しぶりに帰ろうかな、という気持ちになりました。父が一人で残って仕事をしていて、数ヶ月ぶりに会えます。4月からも継続的にバスが使えるなら、また利用したいです。

## ●新幹線は負担なので...

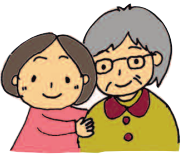
子どもたちは、一度帰ったことがあるんですが、皆一緒に帰るのははじめてです。新幹線だとやはり負担が大きいので、とても助かりました。

## ●1ヶ月ぶりです

いわき市に避難している家族に会いに行きます。1月は会いに行けなかったので、1ヶ月ぶりです。このような企画に感謝しています。欲をいえば、金曜日の夜に出発して、日曜日の晩に戻る便があるといいな。

朝8時半。バス乗り場はさいたま新都心駅から徒歩3分ほどの広い空き地にありました。

オレンジのジャンパーがまぶしい晴天のもと、初めての福玉バスがゆっくりと出発しました。



最初の停車は、旧騎西高校。1時間ほどで到着しました。ここでは、トイレもお借りました。

りできます。

旧騎西高校では、クルマを停めることができ、そのままクルマも一泊できます。さいたま新都心にアクセスが良くないという場合は、旧騎西高校で乗車というのも手です。

小さなお子さんも乗車されていて、明るく和やかな雰囲気の内では、オムツ交換などもされていました。

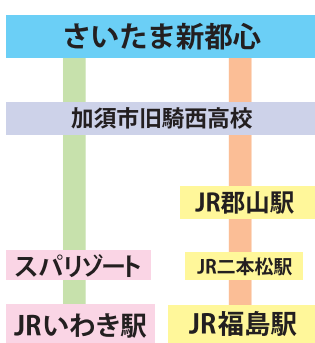
ちょうどお昼頃に、那須高原SAに到着。お昼を購入してバスの中でゆっくり食べられます。

14時すぎに郡山に到着しました。幸い、この日は雪が降っていませんでしたが、翌日24日は大雪だったとか。

15時。風花の舞う福島駅に到着。福玉バス第一便福島行きは、無事に走行を終えました。



3月30日/31日の運行にもまだ空きがあるようです。ご家族の交流のためはもちろんのこと、埼玉へ避難している友人に、福島県から会いに行きたいという方のご乗車等もOKとさせていただきます。



## 【お申込み】

048-833-8731 (一社)埼玉労福協 まで

予約受付時間 平日 10:00~16:00

バスへの乗車にあたっては、「予約」をお願いします。

- お申込みは、「①」とか「⑤」などの『バス便名』でお申込みください。
- ご乗車される方は、「氏名・生年月日」を登録させていただきます(保険の加入等のため)。
- 何らかの事情でご乗車をキャンセルされる場合は、受付の番号へ必ずご連絡ください。
- 予約受付は、各バス発行の2日前までとさせていただきます。

日付	バス便名	出発地		旧騎西高校	目的地(終着)	
3月30日 (土)	いわき便	⑨	さいたま新都心 8:30 発	→	9:30 発	JRいわき駅 12:30 着
		⑩	JRいわき駅 17:00 発	→ スパリゾートハワイアンズ →	20:10 発	さいたま新都心 21:00 着
	中通り便	⑪	さいたま新都心 8:40 発	→	9:30 発	JR福島駅西口 15:20 着
		⑫	JR福島駅西口 16:00 発	→ JR郡山駅 17:30 →	20:50 発	さいたま新都心 21:40 着
3月31日 (日)	いわき便	⑬	JRいわき駅 9:00 発	→ スパリゾートハワイアンズ →	12:20 発	さいたま新都心 13:20 着
		⑭	さいたま新都心 16:00 発	→	17:00 発	JRいわき駅 20:20 着
	中通り便	⑮	JR福島駅西口 12:20 発	→ JR郡山駅 13:40	17:00 発	さいたま新都心 17:40 着
		⑯	さいたま新都心 18:20 発	→	19:00 発	JR福島駅西口 23:40 着





# ママランチinけんかつ

伊奈町

2月24日、伊奈町にある埼玉県民活動総合センタ―にて、「ママランチ」が開催されました。避難生活だけでなく大変なのに、その中で子育て・・・という、頑張っているママが、のんびりおしゃべりできるよう、保育付き、イベント付きでのランチ企画でした。

当日は、お子さん9人、大人11人がふたつのテーブルを囲んで、和やかに懇談が行われました。

浪江町から鴻巣市に避難されている篠原さんのテンポのよい司会によりスター



ト。場の空気が明るくなったところで、ひとりひとりの自己紹介がはじまりました。

その後は、次々に運ばれる料理を食べながら、皆さんがそれぞれ、今の気持ち、今後のことなど、話し合いました。

同じ地域の出身という出逢いに驚く場面もあり、「埼玉県内に避難されている方で、まだ出逢えていない縁があるのかもしれないですね」というお話もありました。

お土産に、「We need cosmetics(※)」の小林さんから、手作りのかわいいアロマバスソルトも。

保育のお部屋から帰ってきた子どもたちの手には、花カップの手作りアイテムが。

「また、会いましょうね」という声と共に、おひらぎとなりました。また、こういった機会が持てますように。ご参加くださった皆さん、スタッフの皆さん、ありがとうございました。

(編集部・伊藤)

(※)「We need cosmetics」は、メイクアップとアロマなどのワークショップを開催しています。「さいがい」つながりカフェでもアロマを楽しむイベントを開催。次回は3月31日(日)に天然石で作るプレスレットづくりとアロマワークショップが開催されます。(東北出身の方は無料です)是非ご参加ください。



この日、ご参加くださった方の中に、「放射能から避難したママネット@埼玉」で活動されているママもいらっしゃいました。コーププラザ浦和にて、保育付きで月一回の茶話会を開催しています。本音で話して、情報交換もできます。子どもを連れて避難されているママ、是非ご参加ください。次回開催日:3/16(土)13:00-17:30 ママ:ビーズ製作予定 子ども:保育とワーク(お問い合わせ:bjskr146@yahoo.co.jp)

桜の前に

## 梅の花が、見頃です。

### ■越生町 おこせばいりん 越生梅林

越生梅林は、関東三大梅林に数えられ、約2ヘクタールの園内には、約600年前に植えられた古木を含め、白加賀、越生野梅、紅梅など約1000本の梅の木が植えられています。



時間:8時30分〜17時/入園料:200円/駐車場:400円/問い合わせ:越生町観光協会(049-292)3121/アクセス:東武東上線越生駅より徒歩55分(バスもあります) 3月20日まで。

### ■さいたま市(大宮区) おこみやだいにこうえん 大宮第二公園



白加賀、八重寒紅梅を中心に約40品種500本の梅が植栽されています。例年1月下旬頃から紅梅が咲き始め、2月中旬に白梅、2月下旬頃から枝垂れが咲き、3月中旬

まで花を楽しむことができます。

時間:11時〜入園料:無料/駐車場:無料/問い合わせ:管理事務所(048)2228/アクセス:JR大宮駅から徒歩30〜40分/JR大宮駅から東武バス「宮下」岩槻駅(天50)に乗車10分「鹿島橋」[芝川]下車3月3日まで

### ■越谷市 こしがやばいりんこうえん 越谷梅林公園

19回目となる梅林公園梅まつり。当日は茶会(野だて・有料)や甘酒サーブ、ダンス、踊り、演奏などの催しや、模擬店の出店もあります。



日時:3月9日(土)〜10日(日)/10時〜15時/入園料:無料/駐車場:梅まつりの日は駐車場がありません。無料シャトルバスが出ます。/問い合わせ:梅林公園梅まつり実行委員会TEL:048-975-3952/アクセス:東武伊勢崎線北越谷駅西口より徒歩20分(バスもあります)



# 「避難」の今とこれから

## 避難者グループリーダー座談会

東日本大震災・福島原発事故発生から、間もなく2年が経ちます。埼玉県に避難された読者の皆さんにとって、これまでは避難先での生活を落ち着ける時期だったと思いますが、今後については、警戒区域の再編や、職業、家族構成の違いなどによって置かれた状況は様々で、多くの方が「これからどうしよう、そのために今、どうしよう」ということを悩んでいる時期であると思います。そこで、避難者グループのリーダーとしてご活動されている5名の方々に、お集まりいただき、座談会を開催しました。迷っている方々にとって、何かのヒントになれば幸いです。(編集部・原田)

**編集部** まず、ご自身の2年間を振り返っていただいてもよろしいでしょうか？

### 15年間は、俺とばあさんで我が家を守る

**新妻** 昨年10月に越谷からいわきに引っ越し、「榎葉特別警戒隊」に入りました。3交代・34名で、深夜問わず榎葉町を回っています。私ごとでもあるし、榎葉町の問題でもあるのですが、「帰りたい」という人間としては私たちが一番若い世代



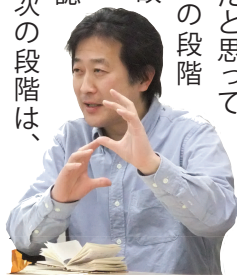
**新妻 敏夫さん**  
2011年3月に榎葉町から越谷市に避難され、越谷市を中心とした避難者グループ「一步会」の会長を務める。現在はいわき市に在住。

なのだと思えます。3年後くらいには帰還できるのではないかと思うのですが、インフラ、生活に必要なスーパー、病院などの問題もある。若い人が戻ってくるのはまだ少ないです。私の感覚で、10%いるのかどうか…。息子は、風評被害でだめだからということ、茨城で仕事を再開しました。「60歳まで、あと15年は帰らない」と言っています。だから15年間は、俺とばあさんで我が家を守る。そうやって何とか前に進んでいかないか、というのが現場です。

### 震災後の4段階の心理

**佐藤** アメリカの精神分析医によると、大震災後の心理として4段階あるらしいんです

が、私も同じだと思っています。最初の段階は、原発事故や避難が現実視できない、認められない。次の段階は、「そうは言ってもいられない」と、仲間うちでハイハイ歩きをするようになる。その次の段階は、精神的にも身体的にも辛くなるけど、何とかプラスに、ほふく訓練を始める時期。そして、4段階目は、「これから自立して人生を切り開いていこう」というような時期。それぞれ個人差はあるけれど、この4段階を踏んでいるのではないのでしょうか。



**橋 光顕さん**  
2011年4月に浪江町から上尾市に避難され、県営シラコバト団地を中心とした避難者グループ「ひまわり」の代表を務める。

**篠原** まずは避難したときに、娘が受験生で、そこがなにより大変でした。下の子も小学1年生だったし、埼玉に移ることを決めて、置いてきた犬のことも

入りもできない。今は賠償を戦っている状況です。

### 「狭間」の2年間だった

**橋** この2年間、ひとことと言つと「あつという間」でした。昨年の3月11日に、シラコバト団地で黙祷の会を行ったのですが、その時には自分ももう1年いるとは思っていませんでした。ところが、昨年と同じく、今年も黙祷の会の準備をしている。時間は進むけど、復興は進まない、その狭間にいた2年間でした。

### 子供のこゝと、仕事のこゝと

**編集部** 鳩山にしても上尾にしても鴻巣にしても、いろんな町の方が避難していると思えますけど、周りの方で、特に困っているということはありますか？

シラコバト団地は、1カ所に50世帯いるというのが大きく、横の連携を思い立ってやりました。「ひまわり」の結成のいきさつとしては、震災翌月の4月に団地の方たちが主催で激励会をしてくれたんです。自己紹介しながら困りごとの話をしたら、みんな困っていた。ちょうど私がテレビ局の取材を受けたもので、家電の寄付をもらって配って回りました。それが「ひまわり」のスタートです。

**鈴木** 私は南相馬市小高区



**鈴木 直清さん**  
2011年3月に南相馬市小高区から鳩山町に避難され、「鳩山町避難者の会」の会長を務める。

**篠原** 子供がいる家庭は、いったん入った学校のことを考えると途中で動かしたくないので、迷っている方がいらつしやる。子供が複数いる場合、特に迷うんですよ。一人をキーにというより、トータル的に見



ると、数年間帰れないということがあると思います。うちは、下の子が難しい年頃なので、あと4年は動けないかな？

他方で両親は福島に帰りたい気持ちもあって、でも家には立ち入りもできないから新天地を見に行ってみたんですが、「こ

こで何する？」って。自営業の人たちにとつては、住むことが仕事をすることがセットだから、難しいですよ。

### みんな拠り所を求めている

**編集部** こちらにいらっしゃる皆さんは、それぞれグループのリーダーで中心的に活動されています。グループのことをお話いただけますか？

**新妻** 一步会では、今まで通り畑を借りて、ものを作って、収穫して、とい



**篠原 美陽子**さん  
2011年3月に浪江町から鴻巣市に避難され、2011年12月から会報誌「想い」を発行。

うことをやっていきたい。今日も挨拶に回ってきました。地域の皆さんと協力して、基本は今までどおり動いていきたいと思っています。

**佐藤** みんな、拠り所を求めているんです。今回のことは「東電どこのこの」もそうだけれど、その背景にあるものを考えたほうがいい。私たちは現在地をどこにしているのか見失うと、孤独感、孤立感がとてもある。現在地がどこにあるのかという、歴史的スパンもみなきやいけない。仲間たちを預かっているリーダーとして、そこはぶれないという責任がある。どこに自分たちがいて、どこにつながつているか、ということをおわかった上で、仲間づくり、組織づくりをしていければいい。

### ぶれてもいいのかなと

**篠原** 私は自分自身がぶれているのを表面に出してもいいのかなと。ぶれている私をみながら、「震災つてなんだろう」と一緒に考えてもらえればいいかなと。

それに、私からわからない気持ちもあります。私には、自主避難の方々、津波で被災した方々の実際の辛さはわかりきれない。それなら、わかりあえる人同士が会えるようにできたらいいかな、架け橋を作っていけ

ばいいのかなと。

**橋** 今は、シラコバト団地から上尾全域へ、ということを考えています。周りの避難した人たちの状況として、出てくる人は出てくるけれど、出てこない人は出てこない。そこで、個別訪問をして、困っていることを聞こうかなと考えています。あとは、「ひまわり」の食事を毎月開いているんですが、「行ってもいいかな」と思ってもらえるような工夫を考えています。家で作っていた料理とか持ってきてもらってお互いにふるまう会にしたり。

**鈴木** 鳩山町には避難者の会というのがあったけれど、そもそも避難形態が「社宅」なんです。私たちが入ってくる前に、町に呼びかけて、ボランティアの方々が部屋を掃除し、カーテンをつけてくれた。毎月、ボランティア実行委員会が傾聴の会やパラソルカフェを開いてくれています。

**編集部** いま、「住んでいる場所/もと住んでいた場所」をクロスするような交流会が必要なのでは、と思っています。長期化ということをお考えすると、今の活動をベースにしつつ、埼玉だけではなく、東京・千葉・栃木・茨城などに広がった被災者のネットワークを作るといったことも考えないとい

けない。避難している方々の心の拠り所はどこか、が課題になつてくると思います。

**篠原** まず、アクセスの問題がありますよね。例えば「深谷でやるよ」と言われても、地図がないとわからない人もいる、ということを念頭に置いておかないといけない。継続して、情報をだし続けることに意義を感じています。それが、きっかけになればいい。人とのつながりを紡いで、16ページの会報誌を作っています。

### 「避難者」「支援者」を越えて、人として想いあう

**編集部** 最後に一言、「こうしてほしい、こうしたい」など、お話ししてください。

**新妻** 皆さんの活動に、ありがたく感じています。個人の考えですが、一步会のテーマは、「避難者」「支援者」を越えて、人として想いあうことで強くなること。皆さんにもその輪に入ってもらおう。例えば畑で、地域の人と汗を流して一緒にものを作るというのは、とてもいい

ことだと思えます。

**篠原** 一緒につくるのはいと思います。一つの例として先日のクリスマス会では、片づけをみんなでやりました。そうすると、みなさん「お客様」ではなくなるんです。掃除しながらお話しができるし！

**佐藤** 杉戸で、社会福祉に特化したNPOを立ち上げました。それが埼玉に広がるといいと思います。

**篠原** 杉戸は理想的ですよね。でも組織にするとなると、B型ワンマンな私には無理だな(笑)。私は「でありたいし、」でないのかなと。みんなも一だから、「一」が寄り添えたりしたらいいなと思っています。

**鈴木** 私は終の棲家について考えています。福島県は戻ってこいという話ですが、首都圏で復興住宅をまとめて斡旋できないだろうか。廃校などを活用して、ゆるい被災者だけの住宅にできないかと考えています。

**橋** 今日は、鴻巣とのつながり、上尾の組織化についてお話ししましたが、もうひとつ「たくさん」があつて来ました。黙祷の会の宣伝です(笑)。皆さん、いらしてください。(1ページに詳細あり)

**編集部** ありがとうございます。2月11日、越谷市市民活動支援センターにて



**佐藤 純俊**さん  
2011年3月に富岡町から杉戸町に避難され、杉戸町を中心とした避難者グループ「杉戸元気会」の会長を務める。



# 【原発事故子ども・被災者支援法セミナー】

報告

2月16日、WithYouさいたま視聴覚セミナー室にて、原発事故子ども・被災者支援法のセミナーが開催されました。講師は尾谷恒治弁護士。

この「原発事故子ども・被災者支援法」は、避難する人も、とどまる人も、どちらの選択をした場合も、国が責任をもって支援しなければならぬ」と定められた重要な法律です。一定の線量以上の放射線被ばくが予想される「支援対象地域」が対象とされています。セミナーでのお話を、簡単にまとめます。



## ■SAFLAN(福島の子もたちを守る法律家ネットワーク)について

SAFLAN(以下「サフラン」)は、平成23年4月から活動を開始しました。当時、文科科学省が、学校等の利用判断として、3.8μSv(年間20mSv)を目安とする、という通知を出し、そのことに対して「避難の権利集会」を福島市で行いました。

## ■弁護士が立ち上がった理由

事故が起きるまでは、年間1mSvまで、というきまりがありました。それが、突然20倍もの線量を許さなくてはならなくなりました。しかも、子どもに対してです。

1〜20mSv(Ⅱ)低線量被ばく(Ⅰ)は、健康影響がはっきりしていません。健康影響が生じるかもしれない、生じないかもしれない。わからない状況の中、子どもを持つ親は避難するかしないかを迫られています。

## ■「自主避難」という言葉の意味

政府は、20mSv未満の場所は避難しなくてもいい、といったため、「自主避難」という言われ方が

あるのだと思います。つまり「勝手に逃げたでしょ」と、国も東電も関係ないよ、という位置づけです。でも、それはおかしなことで、本来は、避難、居住、帰還、それぞれ尊重されなくてはならないですし、その権利をそれぞれ公使した人に、しかるべき補償、支援がされなくてはなりません。

## ■原子力損害賠償紛争審査会における「自主避難者」の枠

平成23年8月には自主避難者の存在をまったく無視していた原子力損害賠償紛争審査会ですが、地元の方々・避難された方々の声もあり、平成23年12月によりやく、自主避難の方に対しても避難の合意性があること、賠償の可能性があることを認めました。

## ■避難のための支援は「今」必要

損害賠償を認めることはよかつたけれど、避難のための支援は「今」必要です。賠償というのは、事後的に金銭で支払われますが、避難の二重生活の負担はいま軽減されなくてはなりません。その可能性を示したのが、この原発事故子ども・被災者支援法です。

## ■放射線についての理解

原発事故により、放射性物質が広く拡散しました。放射性物質による放射線の人体への影響は科学的に十分には説明されていません。このことを支援法は正面から認めています。低線量被ばくについては医学的知見が得られていません。安全かもしれないし、安全ではないかもしれないし、100mSv以下でも健康影響が出ているというデータもあります。それを正面から見据えて、どんな支援が必要なのかを考えなくてはなりません。

## ■この法律の「基本理念」/避難の権利

住み続けること、避難すること、戻れることを、自らの意思で選択し、それぞれを支援することになっていきます。何らかの理由でとどまる人もいます。子どもに対して健康影響を考えて避難する人もいます。地域に愛着があるから帰りたいという人もいます。ひとつひとつの選択が権利として尊重されなくてはならないし、原発事故によって引き起こされた

様々な判断を乗り越えていかななくてはなりません。この法律はそういうことを言っています。

## ■この法律の「基本理念」/健康被害の未然防止と医療費減免

「未然防止」という言葉が入っているのはとても大きな意味があります。想定される被害が予測不可能で、かつ重大な場合は、科学的知見が必ずしも明らかではなかったとしても、必要な施策が遅れてはならない、ということです。健康被害が生じてからでは遅い、それを正面から認めています。

また、定期的な健康診断をもつと充実させること、また、子どもは生涯にわたり検査を受けられること、子どもや妊婦への医療費の減免などが、具体的に求められています。特に、医療費減免については「ネガティブリスト形式」といい、放射線による影響で病気になるという証明を、被災者側がしなくてもよい、という法案になっています。

## ■今後具体的な施行にむけての課題

- ① ポイントは二つあります。  
① 支援対象地域をどう考えるか。  
1mSvにするか5mSvにするかというふうな議論がされています。
- ② 被災者生活支援等施策  
どういう支援をするのかを考えている段階です。

この法律には、「政府は基本方針を作成するときは…(中略)住民の意見を反映する」と書かれています。

ています。復興庁はヒアリングをしなくてはならないわけです。

## ■個別施策について

### ○とどまる人への支援

低線量被ばくをなるべく減らして、特に内部被ばくを減らしていくこと、学校給食の安全、自然体験活動などの保養、屋外で遊ぶのが難しい子どもたちは被ばくを考えなくていい地域に一定期間保養、普段屋外で遊びにくいならば、廃校の体育館を解放し、遊び場を作ることなどが、あげられています。

### ○避難する人への支援

家族の移動交通費の支援、避難先の住居の確保、就労の支援、お子さんの学習支援(避難先で遅れてしまったというような問題や悩みなどがあげられています)。

## ■予算について

支援法ができたのが平成23年6月。本当は12月までに基本方針の策定ができるはずで、予算に組み込める予定でしたが、衆議院選挙などもあり、現状ではまだ基本方針もできていません。補正予算などで財源をつけるといってもあるのが悲観しなくても大丈夫ですが、現状としてはそのようななっています。

## ■全国的な動き

福岡市や久留米市から、「この支援法を具体的に生かしてください」という意見書や要望書が復興庁宛に出ています。意見書や要望書は、正式ルートとして尊重されやすいので、支援法の動きを後



押しすること  
になりす。  
また「支援対  
象地域に指定  
してくださ  
い」という要  
望も北関東の  
各地から出て  
います。

十分だったため、ねばり強く、今  
でも活動を続け、被災者を支援す  
るものに育ててきた歴史があり  
ます。この支援法も皆さんと一緒  
に考え、育てていけたらと思っ  
ています。

【参加者の声】

★幅広い健康影響について調べてほ  
しい。

★孫への健康影響が心配。先が見え  
ない状況だ。

★身体の問題だけでなく、心の問  
題も重点をおいていくべき。この  
支援法によって、全国、沖縄から  
北海道まで、行政サービスとして  
同じ支援があれば、警戒区域の

■チエルノブ  
イリ法は5年  
後だった

チエルノブ  
イリ法は、事  
故5年後にで  
き、それも不

★健康診断の結果を長期的に国の

人間が「真つ先に賠償をもらえて  
申し訳ない」という引け目も、ま  
た、差別もなくなると思う。この  
法律で、分断された関係をつな  
ぎなおしてほしい。

★「いずれ戻る人のために」「安心して  
戻る」という枠にも力を入れてほ  
しい。

★戻る予定の市が何も考えていない  
ように感じる。複合災害の恐ろ  
しさは「避難すればいいでしょう」  
というだけでは語れない。そう簡  
単に避難もできないし、そのしわ  
寄せを被るのは子どもたち。い  
ま、何ができるか、考えたい。

★健康診断の結果を長期的に国の

機関で結果を保存してほしい。  
ホールボーディーカウンターはγ線  
が中心。α線、β線のために尿検  
査をしてほしい。

★個別施策の具体的な内容が決ま  
ってからの説明セミナーを開催し  
てほしい。埼玉県内各地である  
とよい。

★被災者、自主避難者を含めて意  
見交換会や討論する機会があ  
れば参加したい。

★被災地での説明会を学校または地  
域で行ってこの法律を知ってほしい。

★我々は知らない事が多いので行  
政・東電の言うままになっしま  
う。また開催してほしい。

★被災者、自主避難者を含めて意  
見交換会や討論する機会があ  
れば参加したい。

★被災地での説明会を学校または地  
域で行ってこの法律を知ってほしい。

★我々は知らない事が多いので行  
政・東電の言うままになっしま  
う。また開催してほしい。

★被災者、自主避難者を含めて意  
見交換会や討論する機会があ  
れば参加したい。

★被災地での説明会を学校または地  
域で行ってこの法律を知ってほしい。

★我々は知らない事が多いので行  
政・東電の言うままになっしま  
う。また開催してほしい。

★支援が切れる前にはつきりしても  
らえると、今後どうするか、判断  
できる。福島に戻った時に、今ま  
で避難していた分、さかのぼって  
保障してほしい(交通費など)。  
■最後に・・・  
「今後も皆で考えていく必要があ  
ることを痛感しました。埼玉県  
でも各地でこのような勉強会を  
開いていけたらと思います」と最  
後の主催者の言葉に対して、尾谷  
弁護士も「呼んでいただければい  
つでも話します」と言ってくださ  
いました。ご参加くださった皆  
様、ありがとうございました。(編  
集部・伊藤)

新コーナー ひろば(仮称)名募集集中...読者の皆さんの声をお伝えしていきたいと思っています。

万代洋子さん(石巻市からさいたま市へ避難)

震災直後に、石巻から娘が住んでいるさ  
いたま市へ移り住みました。

さいがい・つながりカフェで福島からの  
方々と知り合いになり、いろんな機会に声をかけて

もらったおかげで友人がたくさんできました。

この縁を大切にしていこうと思うことで前向きに暮  
らせるようになりました。

ですから『福島』『宮城』と出身地にこだわる気持ちは  
ありませんが、同郷の方と出会う話すのもやはり嬉  
しいものです。

つながりカフェでも同じ石巻出身の方々と故郷の話  
ができるようになりましたし、同郷の支援グループと  
の交流も始めました。

春からはパソコンを勉強して自分で情報を探そうとい  
う気持ちで芽生えています。福玉の読者の方で宮城出  
身の方がおられたら、お話ししたいですね。



石巻から避難されてきた万代  
洋子さんにお話しをうかがいま  
した。万代さんは、With  
Youさいたまで毎月2回開かれ  
ている「さいがい・つながりカフェ」  
の最初からの参加者さんです。  
今やイベントでは浪江焼きそば  
販売を手伝うことも多く、石巻焼  
きそばよりも好きなのだとか。

『福玉便り』は、宮城や岩手から  
避難されてきた方にもお送りし  
ています。今後も宮城や岩手の方  
が出会えるように、連絡をとりあ  
つていきますか。ご連絡お待ち  
しています。



(薄井/さいがい  
いっつながりカフ  
エスタッフ&福玉  
便り編集部)

皆さんの声を  
編集部まで  
お聞かせください

これまでどちらかというところ、  
編集部発の記事を多く掲載して  
きた本誌ですが、これからは、な  
るべく読者の皆さんの声が交流  
できる紙面にしていけたらと考  
えています。過日にお願いいた  
しましたアンケートでもこんな  
ご意見をいただきました。

■匿名で良いので近況の報告と  
か読者の感想などがあつたら読  
んでみたいです。頑張っている  
姿って勇氣もええますから。(富  
岡町、30代女性)

■地元の方の名前が載っていた  
とき、とても嬉しかった。あつ、  
近くにいたって親近感があ

つて、どこの地区にこんな人が  
来てますよ、なんて書いてあつ  
たら嬉しいですよ。(南相馬市、60  
代女性)

3年目を迎えて、様々な想  
いを抱えて、日々暮らしていらつ  
しやると思っています。一人ひとり  
決断は違つても、互いに尊重し、  
交換していけたらいいなと考  
えています。

「こんなふうに暮らしていま  
す。」「こんな気持で日々過ごし  
ています。」「こんなことをした  
いと思っています。」「○○につ  
いて、皆さんはどうしています  
か?」「……など、どんなお声でも  
結構です。一行だけでも。小さな  
つぶやきでも。匿名でも。お聞か  
せください。お待ちしています。  
「福玉便り」編集部への注文も!

FAX 048-833-8746 メール:fukutama@431279.comまで



月	火	水	木	金	土	日
3月				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

インターネットでも最新情報をご案内しています。  
<http://431279.com/>  
 震災支援ネットワーク埼玉(SSN)



**★暮らしとこころの総合相談会**  
 毎週木曜日 15:00-19:00 JACK大宮5階 集会室 (JR大宮駅西口徒歩1分) 相談無料。048-782-4675(予約直通電話)。運営主体 夜明けの会(埼玉県委託事業)事務局年度末につき?予約受付は3/21(木)まで。  
**【暮らしとこころの相談会in!るま】**3/12(火)10:30受付開始 11:00~15:00@入間市産業文化センターA棟2階 第2集会室 <http://www.9.plala.or.jp/kurashitokenkou/iruma.htm>

**■杉戸町★つづじの里サロン**  
 毎週木曜13:30-15:30  
 杉戸住宅6-3010480-31-0055(つづじの里サロン事務局)  
**■加須市春にむかって作品を作ります!**  
 9:30~11:30 ★  
 旧騎西高校生徒ホール  
 048-601-3111(With Youさいたま)

**■上尾市ひまわり会** 2  
 10:00~11:30 食事会 11:30~14:00 シラコバト団地集会室 048-774-6323 (団地自治会事務所)080-3091-6215(橘さん)  
**■加須市うどんを食べて交流会**  
 11:00~ 寄り添いステーション騎西  
 090-1650-2874(富沢さん)

**■熊谷市 ふるさと交流サロン** 9  
 さいたまコープ熊谷店  
 13:00~16:00  
 080-5430-5452(駒宮さん)

**■新座市新座つながりカフェ** 10  
 13:30~16:00  
 栄公民館090-4968-5685(下瀬さん)  
**■羽生市羽生つながりカフェ**  
 11:00~15:00 パープル羽生  
 048-601-3111(WithYouさいたま)

**■上尾市 3・11追悼式典~黙禱の会**  
 →1ページに紹介記事

**■さいたま市 さいがいいつながりカフェ** 14  
 11:00-15:00  
 WithYouさいたま4階和室  
 048-601-3111

**■さいたま市 ママネット@埼玉** 16  
 →3ページに詳細  
**■さいたま市 ワンコイン映画 上映会**  
 下記欄外に詳細

**■ふじみ野市 おあがんなんしょ** 17  
 ビデオで振り返る「おあがんなんしょ」  
 13:00~16:00 ふじみ野市フットピア  
 049-261-0681(市民活動支援センター)  
**■加須市避難者も支援者も地元も東京もみんな集まれ大交流会in騎西高校**  
 090-1650-2874(富沢さん)  
**■所沢市 交流会:青空・あおぞら**  
 →1ページに紹介記事

**■川口市 ひまわりの会** 12  
 10:00~12:00 おしゅべりサロン  
 12:00~春を先取り7  
 ラワーアレンジメント  
 南鳩ヶ谷 やすらぎ  
 会館 080-4920-4931(ひまわりの会)

**■春日部市 春日部つながりカフェ** 21  
 13:30~16:00  
 ぽぽら春日部 4F会  
 議室3  
 048-829-7400(SSN)

**■さいたま市 さいたまシティマロン** 23  
 →1ページに紹介記事  
**■川口市 川口市避難者交流会**  
 1ページに紹介記事

**■さいたま市 「あれから2年、今、思うこと」さいがいいつながりカフェ女子会** 24  
 13:30~16:30 With You  
 さいたま視聴覚セミナー室  
 080-5532-7380(薄井さん)

**よいそいホットライン**  
 0120-279-338  
 365日24時間。無料です。  
 震災・避難関連の相談をはじめ、生活の困り事、心の悩みなど、どんな内容でも対応してくれます。

**■さいたま市 さいがいいつながりカフェ** 28  
 11:00~15:00  
 With Youさいたま4階和室 048-601-3111 ★  
**■東松山市 きずなの会**  
 10:00~12:00 サン・コーポラス集会所  
 090-6259-4952(佐藤さん)

**★震災・お金・暮らし・相談会**  
 毎週木曜日 15:00-19:00  
 会場:コムナール(浦和/パルコ9階・JR浦和駅東口徒歩1分)  
 主催:埼玉弁護士会など  
 048-811-1666

**■鴻巣市 あるある・いろいろ賠償相談会** 31  
 座談会&ランチ 11:00~12:30  
 個別相談 12:30~  
 鴻巣市市民センター  
 345shinohara@ezweb.ne.jp(篠原さん)  
 ※準備の都合上、予約制にしております。



**ありがとう ございます!**  
 本誌の印刷は、『富士ゼロックス埼玉端数倶楽部』(社員ボランティア)の皆様にも全面的にご協力いただいております。



**■さいたま市 さいたまワンコイン映画上映会 「飯館村 第一章 故郷を追われる村人たち」**  
 福島第一原発事故により計画的避難区域に指定された福島県飯館村の住民6000人のおつた行動とは。  
 日時:3月16日(土)13:45~15:15  
 場所:プラザイースト 映像シアター(さいたま市緑区中尾1440-8駐車場あり)  
 参加費:500円 申込み不要  
 主催:NPO法人チネマ・カプチャー/ TEL:048-686-4539  
 後援:さいたま市教育委員会



**■岩槻市 まちかど雑めぐり キャンドルナイト**  
 東日本大震災への鎮魂と未来へのメッセージを込めて3月10日(日)18:00~20:00  
 岩槻駅前クレセントモール  
 主催:同実行委(048-756-2822)  
<http://hinacon.jp/candle.html>

**■ふじみ野市 3・11 被災地を忘れない!!**  
 3月11日(月) 14:00~17:00 & 18:00~19:30  
 ふじみ野市上福岡駅西口ココネ広場  
 主催:市民ボランティアふじみ野小林(090-9956-2574)

**提供しています。 支援物資のご案内**  
 3月限定で①「玉子がゆ」(幼児・高齢者優先)、②アサヒ飲料様からご提供いただいた「十六茶」「バヤリースオレンジ」「三ツ矢サイダー・日本の果実 長野県産巨峰」を提供いたします。  
 \*数がなくなり次第終了です。  
 \*②については、ライフサポートステーションネット21熊谷 048-598-6321、久喜0480-23-3555、川口労働会館 048-222-5858、騎西寄り添いステーション 0480-31-9511、)にて配布し、宅急便での送付はいたしません。  
 問い合わせ:(一社)埼玉労福協 まで 048-833-8731

**福玉便り お送りします。**  
 ご希望の方には、本紙を郵送でお送りします。

本誌に関するご連絡はこちらまで  
**『福玉便り』編集委員会**  
 連絡先:(一社)埼玉県労働者福祉協議会  
 電話048-833-8731  
 メール:fukutama@431279.com